

花粉症

加藤 誓 (ちかい)

昨日は寒く小雨だったが今日は、風は吹いていたが温かく気持ちの良い日であった。その上、公園での定例グラウンド・ゴルフで二つもホールインワンがでた。こんな幸せな時は、何かが起こると嫌なので真っ直ぐに家に帰った。



手洗いの時、目にゴミが入ったのか痛痒いのに気付いた。目を洗ったが取れないので手で擦った。治らない。

「あっ！花粉だ。」 3年前の「スギ花粉大飛散」の時に初めて 発病した。目が痒く擦るたびに酷くなりその上咳、鼻水も出て大悲惨だったことを思い出した。



去年は花粉が少なくコロナ禍でも特に話題にならなかったが今年、太陽の周りに「花粉光環」と呼ばれる虹色の環が見られる程、大量に飛散し始めていますとテレビで言っていた。



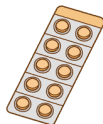
花粉症缶バッジ

花粉症には発熱がないので、本人はコロナ感染症と区別が付くが、周りの人には「くしゃみ、鼻水」は警戒されてしまう。目ざとい企業が「私は、コロナではありません。花粉症です。」とのバッジやシールを早速、発売。地下鉄で付けている人を時に見かける。

愛知県は緊急事態宣言を解除したが、「不要不急の外出」「手洗い、うがい、マスクの着用」は花粉防止のために続けなければならない。今までと何も変わらないのだ。そもそも、「スギ花粉」は戦後、全国的に杉の植林が大々的に行われたが、輸入木材に押され、杉の伐採が少なくなり、そのためスギ花粉の大量生産となったと聞く。



杉を伐採し花粉の少ない品種に植え替え始めたが、効果が出るには100年以上かかるらしい。待つてはられない。



幸い、コロナと違い、よく効く「抗ヒスタミン剤」がある。私は、一日一回の薬を夜10時頃に服用している。眠気のこともあるがヒスタミンは夜中に一番できるからだ。

それはともあれ、ふとっ、窓越しにバルコニーを見た。今日は、久しぶりの洗濯日和で、通常のタオルや下着などの他、温かく乾燥させようと毛布とシーツ、枕、マスクまで干してある。慌てて取り込み、見えない花粉を掃除機でとった。つもり？



花粉に対して、身体だけでなく行動までが過敏症なのだ。罹ったことのない女房には 分からないので、もう一度言う。鼻は痒く、鼻水が止まらず 喉も痛く 結構辛いのである。

掃除機で逆に花粉を部屋にまいてしまったのか、大きな くしゃみをした。

1回か、あるいは3回なら、なお良かったのに 何故か、2回 出た。

「誰かが 私を 誘 (そし) っている？」 良い日には何かが起こる？